

県民百貨店・センタープラザの営業 継続と従業員の雇用確保を!

日本共産党市議団が幸山市長・議長と県民百貨店に申し入れ

5月26日、日本共産党市議団は、幸山市長に「県民百貨店(約1000人の雇用)とセンタープラザ(400人の雇用)の継続と雇用の確保」を桜町再開発準備会社に働き掛けるよう申し入れました。

県民百貨店が、29日開催の臨時株主総会で、「入居を前提に、営業の継続か移転を株主総会に提案する」ことが報道され、緊急の申し入れとなりました。申し入れには、農水商工局長が対応し、「雇用は大切」と強調しましたが、これまで同様、「対応を見守る」と述べるに止まりました。

桜町再開発には、熊本市はMICE施設の保留床取得者として参加し、国・市の補助



金107億円を投入する予定です。

MICE施設と合わせて400億円もの税金を投ずる事業が、地元企業を追い出し、そこで働く従業員を路頭に迷わせる計画であってはなりません。

6月議会 上野みえこ議員が一般質問を行います

とき 6月10日(火)午後2時より

ところ 市役所議会棟5階本会議場



【内容】

桜町再開発(交通センター周辺)、MICE整備(3000人の大会議場)
花畑広場整備
介護保険、国民健康保険、子ども医療費無料化
少人数学級、教室へのエアコン設置、就学援助など教育の充実
住宅リフォーム助成・公共施設改修など地域が潤う公共事業
など

★どなたでも傍聴できます。お誘いあわせでおいでください。

<熊本市への要望項目>

- ①熊本市として、県民百貨店やセンタープラザテナントの営業が継続できるように、力を尽くすこと
- ②市として、県民百貨店やセンタープラザテナントの従業員の雇用を守るよう、桜町再開発準備会社に働きかけること
- ③県民百貨店に対し、今後の事業の方向は、株主総会・代表取締役だけで決めるのではなく、組合や従業員の声を聞いて決めるよう申し入れること

【控室から】 「400億円の投資」への市民の声

上野 みえこ

5月20～27日、区議会5回の「桜町・花畑地区のまちづくり」MICE整備とシンボルプロムナードについての説明会が開かれました。桜町再開発事業は、熊本市が補助金とMICE施設整備に400億円もつき込む、市政史上最大のハコモノ建設です。多額の投資は、今後の市政全般、住民サービスに大きく影響してきます。それだけに、多くの人に関心を持ち、知っていただきたい問題です。

この会場でも、「400億円もの投資をして、失敗したら誰が責任取るのか」「それだけの利用があるのか疑問」「こんなものにお金を使うと、他のことが悪くなる」「市の財政が厳しいのに、なぜ九州産交に何百億円もつき込むのか」「なぜ、市長が説明に来ないのか」「観光でコンクリートの建物は見に行かない」「広場に屋根を付けて誰が行くのか」など、疑問や反対意見がほととぎすことだ。

市長は、桜町再開発へのMICE整備を強行にすすめるつもりですが、これら市民の声を真摯に受け止めるならば、建設先にあきらめずすすめるべきではありません。

日本共産党 市議会だより

発行：日本共産党熊本市議団

ますだ牧子 上野みえこ なすまどか

熊本市中央区手取本町1-1

NO. 902号
2014年6月1日
電話 328-2656
FAX 359-5047

メール：kumamsu@gamma.ocn.ne.jp
HP：http://www.jcp-kumamoto.com/
3階

建設労働者・職人の仕事を守ってほしい

熊本県建築労働組合が熊本市に要請

5月22日、熊本県建築労働組合は熊本市に対し、労務単価の引き上げ、公契約条例の制定など、建設労働者や職人の労働条件の改善を求め要請を行いました。建築現場で働く職人の方々が参加し、現場の実態を訴えました。市議団3名、山部ひろし北区市政対策委員長も同席し、要求項目の実現を求めました。



労務単価の引き上げで暮らしていける賃金を！

建設現場では、2次請け、3次請けなど下請けになれば、賃金が安くたたかれ、発注時に積算されている労務単価が支払われていない実態などが訴

えられました。労務単価の引き上げとともに、下請けへのピンはねが行われていないか、市として実態調査を行うよう検証を求めました。

公契約条例の制定を！

公契約条例とは、市が発注する工事などに従事する労働者の賃金を定め、守らない業者にはペナルティを課すことなどを定めた条例で

す。現場労働者の賃金を守るために川崎市など制定が進んでいます。要請では、早期の条例制定を求めました。

住宅リフォーム助成制度の実現を！

住宅リフォーム助成制度は、住民が市内業者にリフォーム工事を発注することを条件に、工事費の一定額を補助する制度です。全国各地で実施されており、制度がつくられて

地域では、地元業者の仕事が増え、大きな経済効果が上がっています。また、住宅環境の改善が図られるなど、住民からも喜ばれている制度です。早急な制度の実現が求められます。

MICE施設整備の住民説明会

各会場で相次ぎ批判・反対の声



民間企業が桜町（交通センターや県民百貨店のある地区）ですすめる再開発。熊本市は、その再開発のなかで300億円の税金を投じ、MICE施設（大型会議場、ホール、展示場など）を整備する方針です。5月20日から、各区においてMICE施設整備等についての住民説明会が行われましたが、会場からは批判や反対の意見が相次ぎ出されました。5カ所のみで説明会が終わり、繰り返しの説明



住民説明会の様子～中央区

会を開催し、市民への説明責任を果たすべきです。

住民説明会で出された意見

- ◆ 計画が決まって、住民説明会を行うというのは順序が逆ではないか。住民の意見が軽視されている。
- ◆ 利用見込みに根拠がない。大規模学会についても、誘致できる大学教授などが何人いるのか？根拠を示してほしい。
- ◆ 民間企業が進める桜町再開発の総事業は523億円。そのうち、市がMICE整備で300億円、補助金が100億円。500億円のうち、400億円の税金をつぎ込むというのはいかがか。1企業の利潤応援ではないか。
- ◆ 市民的議論は成熟していない。1度2度の説明会で終わりにせず、繰り返し説明会を開催し、市民合意を得るべき。
- ◆ 熊本市の将来を左右する事業の説明会に、市長はなぜ来ていないのか？市長自らが説明をすべき。
- ◆ 反対の意見が多ければ、計画は見直すのか？
- ◆ 生活が大変、税金が重い。もっと暮らしにかかる負担軽減のためにお金を使ってほしい。